

ISO/IEC/JIS 事務局便り

第 21 回 ISO/TC 138 国際会議

1. TC 138 の構成

第 21 回 ISO/TC 138 国際会議（年次大会）が 10 月 19 日～10 月 22 日に上海／中国にて開催された。TC 138（プラスチック管・継手）は、(表 1)に示すように SC が 7 個あり各 SC にはいくつかの WG が、また TC 直下にも WG がある構成となっている。

(表 1) TC 138 の構成

セクション	内容	幹事国
TC 138	プラスチック管・継手	日本
WG 8*	管の基本寸法	-
WG 12*	管更生	-
SC1	廃下水用プラスチック管・継手	フランス
SC2	給水用プラスチック管・継手	スイス
SC3	工業用プラスチック管・継手	イタリア
SC4	ガス供給用プラスチック管・継手	オランダ
SC5	試験方法・基本規格	オランダ
SC6	強化プラスチック管・継手	オーストリア
SC7	プラスチックバルブと補助器具	イタリア

* : TC 138 直下の WG

SC1～SC4 は管の用途別で区分されており、SC5 は管に関する試験方法、SC6 は強化プラスチックを材料とした管、SC7 は管の周辺器具となっている。

2. TC 138 の活動状況

各 SC の活動状況の指標として、規格発行数を次に示す。

なお、()内は最近 1 年間の発行数である。

[発行規格数]

WG8 : 6(0), WG12 : 6(6), SC1 : 34(13), SC2 : 69(11), SC3 : 9(0),

SC4 : 42(2), SC5 : 81(4), SC6 : 27(3), SC7 : 11(0)

SC2、SC4 および SC5 の規格発行総数は多く、最近 1 年間では WG12、SC1 および SC2 の発行数が多く活動が活発と言える。

日本は 1997 年より TC 138 の幹事国を勤めている。しかし、各 SC の幹事国はすべて欧州国で、さらに WG のコンビナーのほとんどは欧州出身であり、TC 138

は欧州中心と言わざるを得ない。実際、規格の多くは、欧州 (EN) 規格を基にしたものとなっている。この中において日本は規格開発に積極的にかかわり、国内規格 (JIS) 化する際に問題が生じないように日本の意見を主張していかねばならない。国際会議 (年次大会) の開催場所は、欧州偏重とならないように、欧州と非欧州とで交互にしている。

3. TC 138 国際会議の概要

今年の国際会議は非欧州で、上海 (中国) で開催された。ホスト国である中国にとって TC 138 国際会議の開催は初めてであったこと、欧州から中国への入国にはビザが必要であったこと等、煩雑な面があったが、TC 幹事国の日本がサポートすることにより、円滑に会議を開催・進行できたと考えている。

今回の国際会議には SC6 関係の会議が開催されなかったため、全体の参加者は例年より少なかった。参加者総数は 22 ヶ国、75 名であった。このうち、欧州は 11 ヶ国、39 名で非欧州は 11 ヶ国 36 名と拮抗していた。日本からは TC138 議長および国際幹事を含め 8 名が参加した。開催された会議は以下のとおり。

10月19日: SC1/WG4, SC1, SC4/AHG1, SC4/WG7, SC5/WG17, SC5/WG20

10月20日: SC2, SC4, WG12/TG4, 歓迎パーティー

10月21日: SC3, SC4/WG7, SC5, WG12/TG3, WG12, 諮問会議

10月22日: 全体会議

日本からの参加者は分担して主な会議に出席して、必要に応じて意見を述べた。特に WG12 (管更生) 関係では多くの新規の規格開発が進んでおり、今後の JIS 化も見据えて、積極的に議論に加わった。

TC 議長と国際幹事が司会進行を行った諮問会議および全体会議では、各国代表より次の意見が出され検討することとした。

- ・ TC 138 新規メンバーのいくつかの国へコンタクトができない。
- ・ 諮問会議はもっと最重要事項だけに絞り、短時間にすべきである。
- ・ 審議文書は審議の最低 6 週間前に配布すべきである。
- ・ 国際会議の日程は最低 1 年半前に知らせて欲しい。等

2011 年の国際会議は、10 月 25 日～10 月 28 日にアムステルダム (オランダ) で開催する予定である。

4. 今後の取り進め

各 WG 会議は国際会議 (年次大会) のみならず、個別に頻繁に欧州にて開催されている。したがって、日本の意見を規格に反映させるためには、必要に応じて個別に開催される WG 会議にも出席する必要がある。

以上